

前線及び台風8号の影響に伴う降雨おける 摺上川^{すりかみがわ}ダムの効果について (速報)

前線及び台風8号の影響に伴う降雨で、摺上川ダムにおいて防災操作を行い、約3,445千m³の水を貯め込み、下流河川の増水軽減を図りました。

※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

◎摺上川ダムの気象状況

7月9日2時頃から10日(7時時点まで)にかけて前線及び台風8号の影響に伴い摺上川ダム流域に合計114.8mmの雨が降りました。
1時間当りの最大降雨量は、23.9mmでした。

◎防災操作の効果

- 摺上川ダムに最も多くの水が流れ込んだ毎秒200立方メートルのうち、毎秒176立方メートルをダムに貯め込みました。
(毎秒24立方メートルがダム流下量。発電・上水道の使用水量等です。)
- 今回の洪水における防災操作では、約3,445千立方メートル(東京ドーム約2.8個分)の水を貯留し、下流河川の増水軽減を図りました。

※ダムがなければ毎秒200立方メートルがそのまま下流へ流れていた事になります。

※東京ドームの容積は124万立方メートル。

〈 問い合わせ先 〉

国土交通省 東北地方整備局 摺上川ダム管理所

所 長 本田 英則

管理係長 遠藤 盛茂

TEL 024-596-1275 (代)

FAX 024-596-1274

阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (平成26年7月9～10日 前線及び台風8号)

○前線及び台風8号の影響に伴い摺上川ダム流域に、1時間雨量が最大で約24mmとなるなど、7月9日2時頃から10日7時時点までの合計で114.8mmの雨が降り、ダムへの最大流入量は200m³/sを記録しました。

○今回の洪水における防災操作では、約3,445千m³（東京ドーム2.8個分）の水を貯留し、下流河川の増水軽減を図りました。

○貯水池の水位は、雨が降り出してから約1.5m上昇しました。

※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。



摺上川ダムの状況【7/10 7:00 EL295.78m】



降雨開始から貯水池の水位が約1.5m上昇しました。

～H26. 7. 9-10 防災操作図～

